

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	裂孔原性網膜剥離の術後黄斑形態と視機能に関する後方視的研究
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2018年4月1日から2025年3月31日までに新潟大学医歯学総合病院眼科と済生会新潟病院眼科で裂孔原性網膜剥離の手術を受けた患者さんが対象になります。
③ 概要	<p>裂孔原性網膜剥離は緊急に手術を要する疾患であり、状態によっては非常に視力の予後が不良です。しかし、手術後の視機能の経過に関してはまだ明らかになっていない部分が多いです。</p> <p>私たちは今後の診療に役立てるため、裂孔原性網膜剥離を罹患した方に対して、発症時期や手術前の視機能検査の結果、手術中の操作の違いに着目し、手術後の視機能にどのように関与するのかを経時的な変化を追うことで解明することにいたしました。</p>
④ 申請番号	2021-0166
⑤ 研究の目的・意義	裂孔原性網膜剥離の手術前後の網膜の状態と視機能の経過について非侵襲的な視力検査や視野検査、そして画像検査を用いて評価します。この研究により、より効果的な手術方法の解明と治療早期に患者さんに示す予後指標の確立を目指します。
⑥ 研究期間	倫理審査委員会承認日から2026年3月31日まで
⑦ 情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテに保存されている裂孔原性網膜剥離の手術を受けた患者さんの病歴、視機能検査を利用させていただきます。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行います。研究の成果は学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定されるような情報が公開されることはありません。
⑧ 利用または提供する情報の項目	病歴(年齢、性別、発症時期、眼軸長(眼の長さ))、視力検査結果、視野検査結果、画像検査結果
⑨ 利用する者の範囲	新潟大学 眼科 済生会新潟病院 眼科
⑩ 試料・情報の管理について	本学：新潟大学 眼科 講師 寺島浩子

て責任を有する者	済生会新潟病院：眼科 部長 長谷部日
⑪ お問い合わせ先	所属：新潟大学 眼科 氏名：佐藤 伊将 Tel：025-227-2296 E-mail：n21b114h@mail.cc.niigata-u.ac.jp